

言葉に対する色のイメージ

大森 奈津子 赤羽 紗莉 小野 寛子 瀬野 沙蘭 田渕 菜実子 原田 歩

要旨

私たちは、言葉に対する色のイメージを何となくもっている。それは、私たちが授業で使っているノートの色に、教科によって偏りが見られることから明白である。そこで、教科のノートの色、血液型、季節についての色のイメージについて調べたところ、すべての項目において、言葉に対する色のイメージには共通点があるという結果を得た。

キーワード：色, 教科, 血液型, 季節

1 序論

教科別のノートの色を見ると、教科によってその色に偏りがあるということに気が付き、それは「数学」や「理科」というような言葉に対応して、それぞれに共通した色のイメージがあると考えた。また、血液型や季節にも共通した色のイメージがあると考え、調査した。

2 仮説と調査方法

(1) 仮説の設定

言葉に共通した色のイメージがあるのか、次の仮説を設定し、検証することを試みた。

【仮説】 色に偏りが見られるならば、言葉のイメージに共通した色がある。

(2) 調査方法

上記の仮説を証明するために、本校2年次生240人を対象に、教科のノートの色、血液型、季節へのイメージの色とその理由をアンケートで調査し、その結果を考察した。

3 調査結果

アンケートの結果の割合を次の表で示した。

表1 ノートの色(主な色の割合)

教科	色と割合	考えられる主な理由
国語	 35%  24%	・ 小学校の時の影響 （ノートの統一、テストの色） ・ 通信教育の教材
数学	 63%	
理科	 57%	
社会	 36%  15%	

表2 血液型に対するイメージ(主な色の割合)

	色と割合	考えられる主な理由
A型	 82%	・ テレビの占いに使われた色 ・ 血液型の本
B型	 53%	
O型	 30%   33%	
AB型	 26%  20%	

表3 季節に対するイメージ(主な色の割合)

季節	色と割合	考えられる主な理由
春	 7.4%	季節の風物詩の色 ・春→桜 ・夏→海 ・秋→紅葉, 落ち葉 ・冬→雪
夏	 3.5%  1.3%	
秋	 4.0%  3.3%	
冬	 7.2%	

4 考察

(1) 教科のノートについて

アンケート結果に基づいて、主な理由に挙げられたものの根拠について次のように推測した。

国語は、日本の文章を主に学ぶ教科であるから日の丸の赤のイメージがある。数学は、複雑な数式や図形を読み解くので知的なイメージの青である。理科は、自然について学ぶので、自然の象徴である緑色である。社会は、社会的・地球規模な問題を扱うので難問解決への推進力になるという心理効果のある黄である。

(2) 血液型について

アンケート結果に基づいて、主な理由に挙げられたものの根拠を次のように推測した。

A型は、血液型の代表であるからリーダー色の赤である。B型はA型と対照的なイメージがあるので赤の対とイメージされる青である。O型は、おおらかで楽しいというイメージがあるのでそれを象徴する黄である。AB型は、他とは違う不思議な印象を受けるので、ミステリアスを象徴する緑や紫である。

(3) 季節について

すべて季節の風物詩を象徴する色のイメージがある。根拠を次のように推測した。

春は桜、夏は海、秋は紅葉・落ち葉、冬は雪が主な風物詩である。

5 結論

考察から、すべての調査項目において、言葉に対する色のイメージには共通点があると言える。それらは、理由なく共通しているのではなく、今まで自分たちが見てきたものに基づいていると考えられる。

言葉に対して、色のイメージだけでなく相手に与える印象や受け取り方の違いなども詳しく理解できれば、形のない「言葉」をより具体的なものとして捉えていくことができるであろう。

【参考文献】

- ・ポーポーポロダクション：色紙様と色のひみつ，PHP 研究所(2012)
- ・ポーポーポロダクション：マンガでわかる色のおもしろ心理学，ソフトバンク クリエイティブ(2006)
- ・ポーポーポロダクション：マンガでわかる色のおもしろ心理学2，ソフトバンク クリエイティブ(2007)
- ・山口英一：色の科学，五感教育研究所(2012)